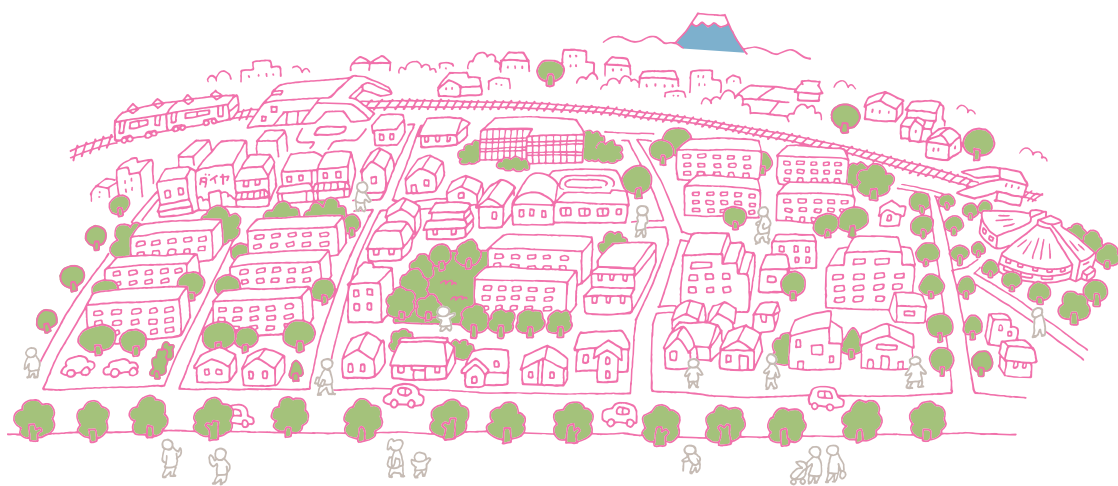


国立市 富士見台地域 重点まちづくり構想 概要版

令和 3（2021）年 5 月

「まちへの愛着」を
原動力に
市民一人ひとりが
手をつなぎ
未来へ



国立市・国立市富士見台地域まちづくり協議会

① 富士見台地域まちづくりの将来像

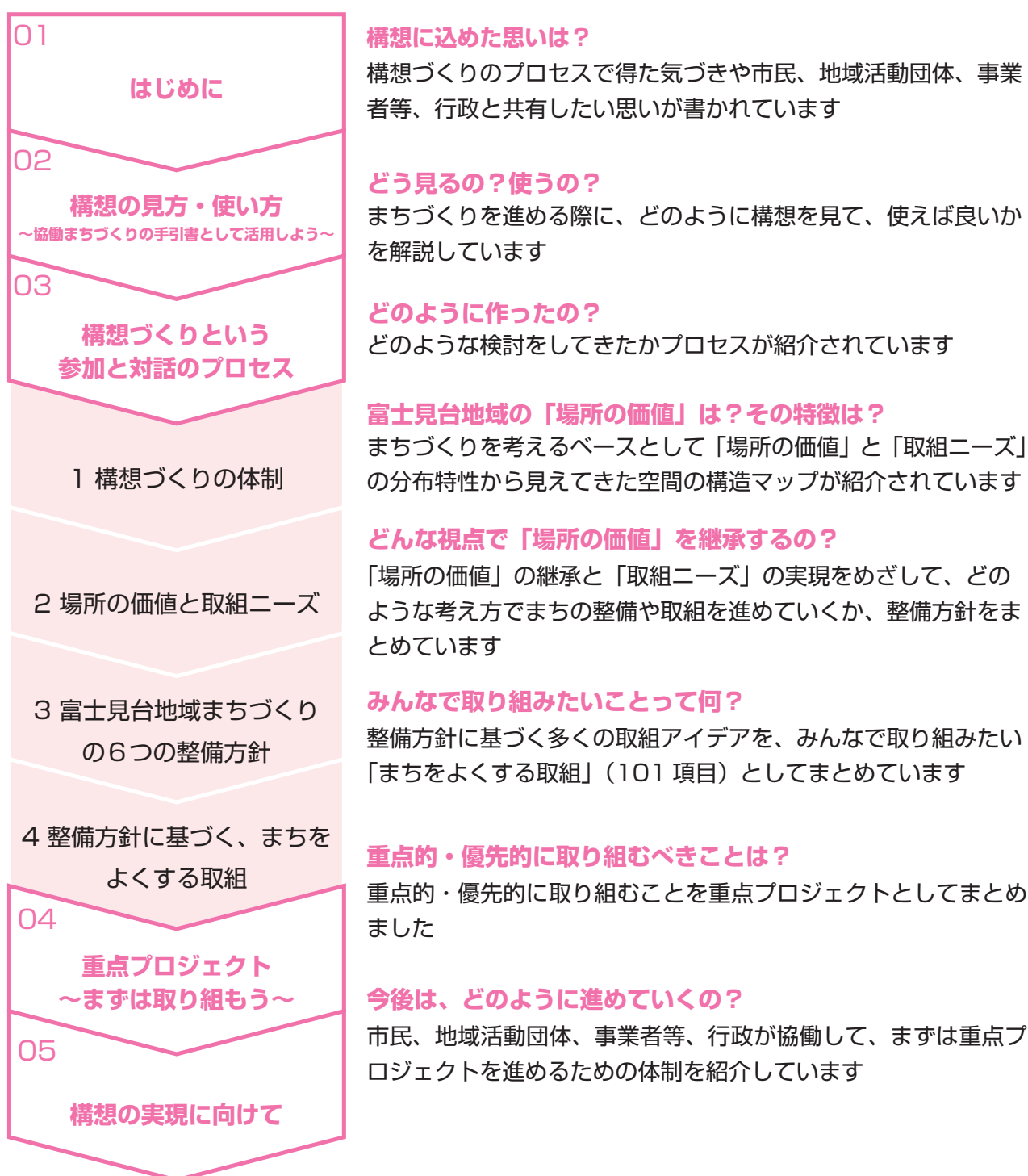
国立市富士見台地域まちづくりビジョン（平成30（2018）年2月策定）では、「人が主役、多彩な暮らしが重奏するまち 富士見台」という将来像が示されました。

② 構想の位置付けと構成像

構想は、ビジョンで示された将来像を実現するために、6つの整備方針と重点的・優先的に進める10の重点プロジェクトを示したものです。

今後は、構想を「協働まちづくりの手引書」として活用し、市民、地域活動団体、事業者等、行政が協働でまちづくりを進めるとともに、次世代を担う子どもたちも自分が住むまちの魅力を知り、まちづくりに関わるきっかけになればと願っています。

〔 構想（本編）の各章の趣旨と流れ 〕

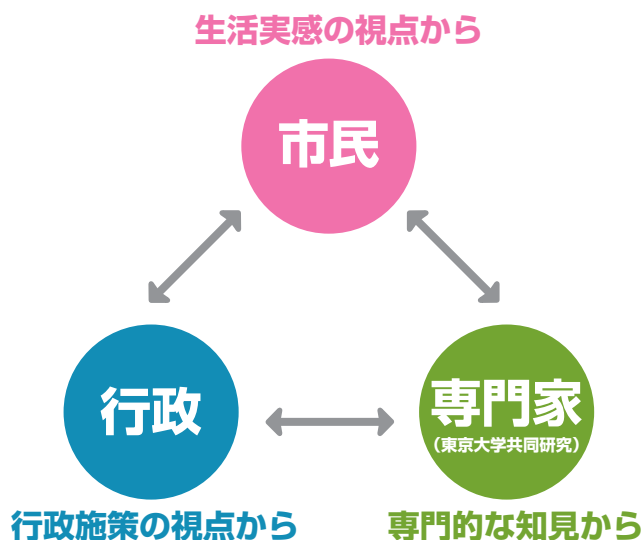


③ 構想づくりの体制

構想は、平成 30(2018) 年度より3か年をかけて、市民、行政、専門家の3者で検討を進めてきました。

市民による「生活実感の視点」、行政による「行政施策の視点」、専門家による「専門的な知見」を掛け合わせて進めてきた、まちづくりのプロセスは、構想という成果物と同じくらい大切なものです。

〔構想づくりの体制図〕



④ 富士見台地域まちづくりの6つの整備方針

ビジョンで示された将来像の実現に向けて、「地域包括ケアの推進」を重点課題とし、「公共施設の再編と一体的に取り組むまちづくりの推進」と「大規模団地と一体的に取り組むまちづくりの推進」を重点まちづくりと位置づけました。

重点まちづくりを進めていくにあたり、「場所の価値」の継承と「取組ニーズ」の反映を前提に、どのような考え方でまちの整備や取組を進めていくかを市民、行政、専門家と協議して6つの整備方針としてまとめました。

〔6つの整備方針〕

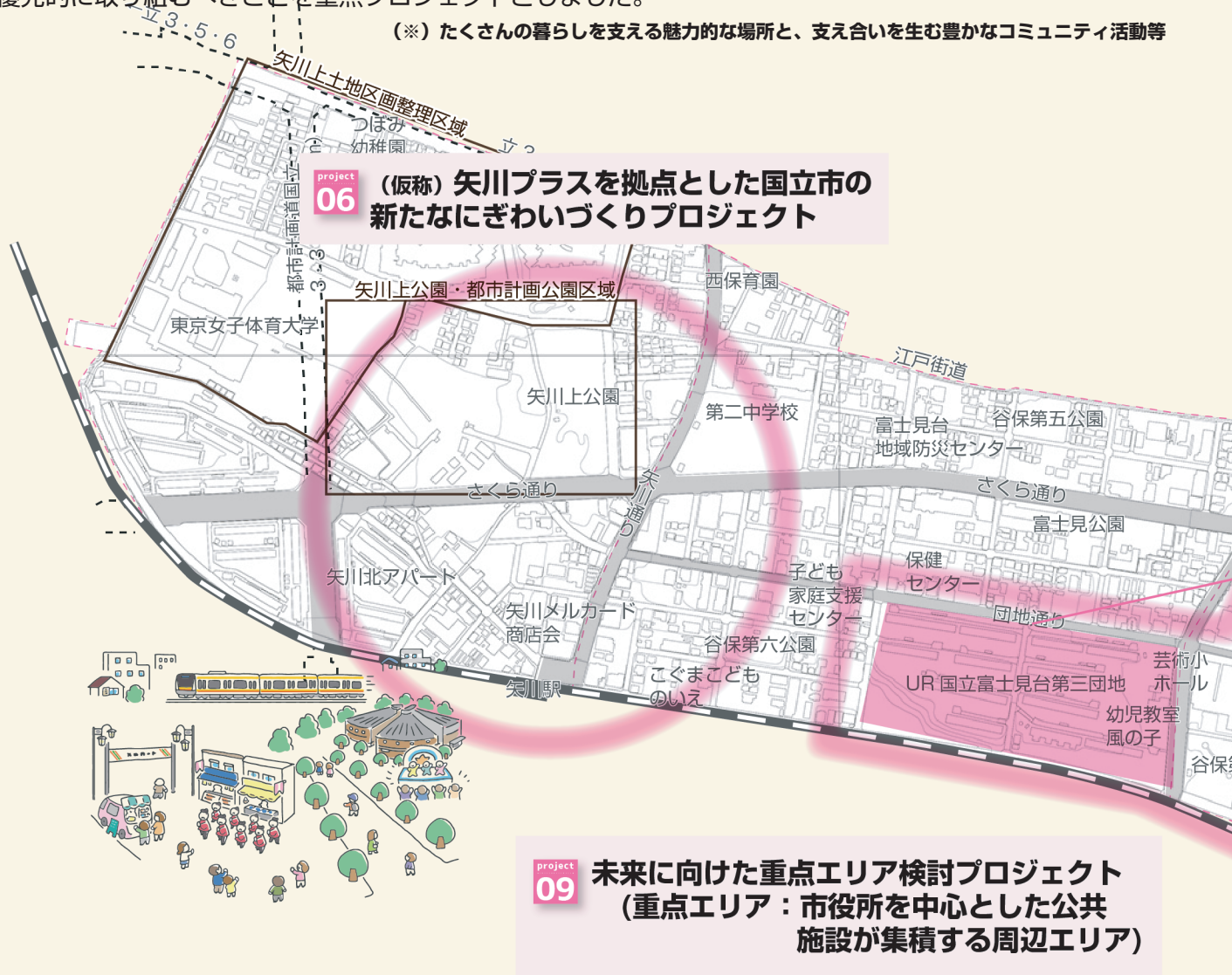


⑤ 重点プロジェクト01～10

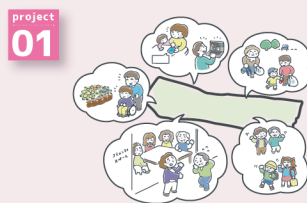
わたしたちは、これまで共有してきた今の富士見台地域のまちの魅力を活かしながら将来にわたって持続可能なまちを実現していくため、まちづくりのツボ（※）に対して、段階的にアプローチし、その効果を見ながら次の一手を打ち続けていく必要があります。

わたしたちが大切にしたい場所の価値が集積している場所やまちづくりのニーズが多かった取組を踏まえ、重点的・優先的に取り組むべきことを重点プロジェクトとしました。

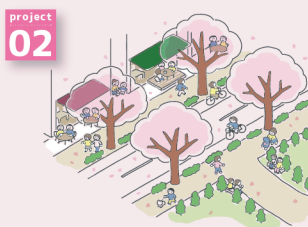
(※) たくさんの暮らしを支える魅力的な場所と、支え合いを生む豊かなコミュニティ活動等



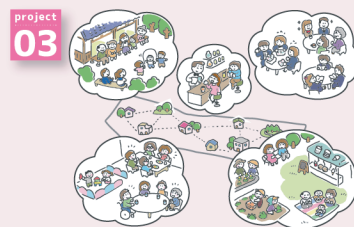
富士見台地域全域対象



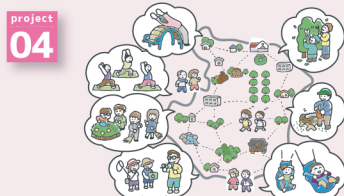
市民まちづくりプロジェクト100
(通称：市民100プロ)



さくら通りを軸とした富士見台地域の魅力向上プロジェクト



まちなかの居場所の魅力化・ 拡充プロジェクト



グリーンインフラを活用した まちの回廊化プロジェクト



市民と行政とのまちづくり体制 構築プロジェクト

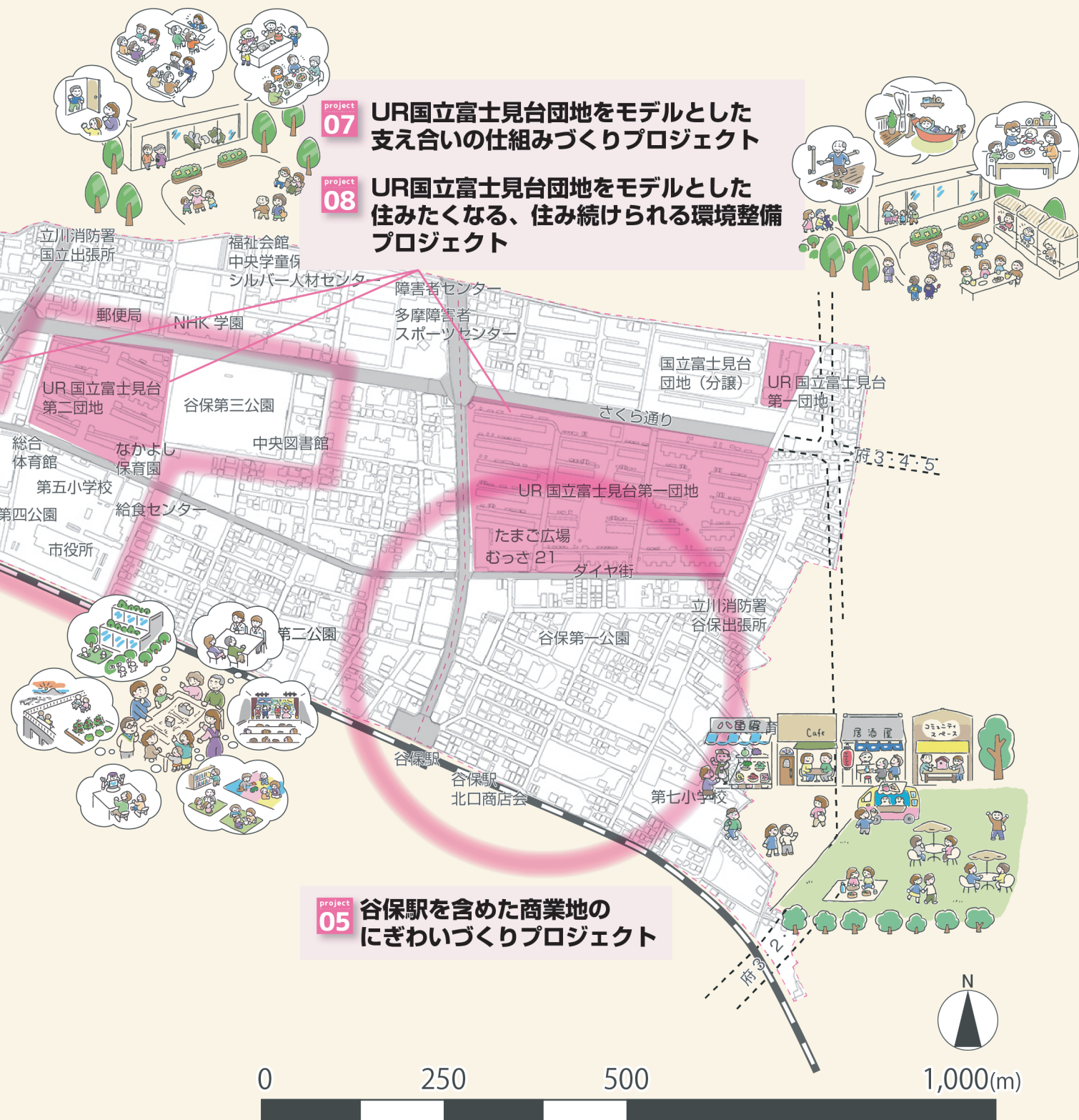
⑥ 構想の実現に向けて、協働まちづくりの体制

「重点プロジェクト」を着実に進めるためには、市民、地域活動団体、行政、事業者等が連携・協働して実践していくことが不可欠であり、定期的に、各プロジェクトの進捗やプロジェクトを進めるうえでの課題を共有する場が必要です。

そのために地域では、広く市民に開かれた検討の場である「富士見台ミーティング」を継続し、それを企画・実行する「(仮称)富士見台ミーティング実行委員会」を設置します。

行政では、庁内検討会と重点プロジェクト推進検討部会を設置し、分野横断的な連携体制を構築していきます。

各プロジェクトの取組は、「富士見台ミーティング」で共有するほか、「富士見台ニュース」を発行し、国立市内・外に向けてPRしていきます。



国立市富士見台地域重点まちづくり構想 概要版

令和 3（2021）年 5 月



発行

国立市 都市整備部 富士見台地域まちづくり担当
〒186-8501
東京都国立市富士見台 2-47-1
<https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>

電話 042-576-2111（内線 383）
FAX 042-576-0264
メール sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp

編集

国立市富士見台地域まちづくり協議会

編集協力

株式会社 石塚計画デザイン事務所